島田小学校だより

さわやか

令和２年（2020 年）
８月２４日　№９
豊中市立島田小学校
校　長　竹本　和哉

２学期がスタートしました。

本日より、２学期がスタートしました。まだまだ新型コロナウィルスの収束が見えない状況が続いています。高校や大学など、部活動を中心としたクラスターが全国各地で発生しています。子どもたちへは、感染予防の大原則、マスクの着用と手洗いの徹底を引き続き、しっかり指導をしていきたいと思います。ご家庭におかれましては、もし、お子様本人およびご家族に発熱、せき、倦怠感などの症状がありましたら、無理をせず、ご自宅でお休みいただきますようお願いします。その際には、詳しい症状を学校までお知らせください。

平和朝会の感想から

８月６日（木）の平和朝会の時、子どもたちに呼びかけたところ、たくさんの意見をもらいましたので、いくつか紹介したいと思います。

〇まわりの人となかよくするには？（１～４年）

・声をたくさんかける。　・いっしょに遊ぶ。　・人に対して思いやりの気持ちをもつ。
・なかまはずれをしない。　・元気よく、「友だちになりませんか？」と聞く。
・「これを言ったらきずつかないかな？」と考える。
・まず親切にして、やさしくする。　・こまっている人がいたら、助けてあげる。

〇戦争をなくすには？（５・６年）

・戦争をするということは、ケンカが起きるということ。ケンカをするということは何かしらの問題があるということ。だから、元になっている問題をなくせばよいと思う。
・人々の心がけがないかぎり戦争はなくならないと思う。

子どもたちには、周りにいる大切な人たちとどのように過ごしていくかを、しっかり考えてほしいと思います。一人ひとりがやさしい気持ちを持てば、良いクラス、良い学校、良い社会になっていくことでしょう。島田小学校のみなさんで、すばらしい学校をつくっていきましょう。

夢中になれるものをさがしませんか？

８月 20 日（木）、将棋の「王位戦」第４局で、藤井聡太棋聖（18 歳）が、木村一基王位（47 歳）に勝利し、通算４勝０敗で、王位を獲得しました。ニュースをみられましたか？

藤井聡太さんは、ニュースでよく取り上げられていますが、先月、17 歳 11 か月の史上最年少で初タイトル（「棋聖（きせい）」）を獲得しました。これだけでもすごいことですが、今回の「王位（おうい）」も獲得し、「二冠」を達成しました。さまざまな記録が塗り替えられ記録更新されています。なぜここまで強くなったのか、将棋ファンのひとりとして調べてみました。

すると、将棋を始めたきっかけは、５歳の時、祖父母の家で将棋を教えてもらったことだったようです。それから、将棋に夢中になった藤井少年は、いろいろな大会に出て良い成績を残し、今のプロ棋士になりました。もし、おじいちゃんから将棋を教えてもらわなかったら、今の藤井棋士は誕生しなかったかもしれません。５歳で、自分の好きなことに出会えたことって、すごいことだと思いました。

一方、対戦相手の木村一基さんは、昨年、46 歳 3 か月で、初タイトル（王位）を獲得しました。これは、初タイトル獲得の最年長記録でした。残念ながら今回は、タイトルを藤井棋聖に奪われてしまいましたが、また、木村棋士の活躍に期待したいところです。同世代として・・・。

島田小のみなさんは、どうですか？

今、夢中になれるもの、ありますか？

２学期は、たっぷり時間があります。いろいろなことにチャレンジしながら、自分が夢中になれるものをさがしてみませんか？

今後について

２学期の大きな行事予定については、１学期の終わりに配布させていただきました。今後、教職員で、話をしながら決定していきます。また、世の中の動向や、教育委員会の方針に基づき、判断していきます。子どもたちにとっては、１学期に続き、いろいろな制約がある中での２学期スタートとなりました。充実した２学期になるように、子どもたちの心身の様子をしっかりみとりながら、教職員一同取り組んでいきますので、これからも、ご協力のほどよろしくお願いいたします。